

日本緑化工学会 都市緑化技術研究部会 シンポジウム

～ 地震災害と緑：浦安の地盤液状化被害から何を学び明日に活かすのか ～

主催：日本緑化工学会 都市緑化技術研究部会

後援（予定）：(社)日本造園学会、(社)日本公園緑地協会、(財)都市緑化機構、
(財)日本緑化センター、(財)日本造園修景協会、(社)日本造園建設業協会、
(社)街路樹診断協会、(社)日本樹木医会、(社)ランドスケープコンサルタンツ協会

都市緑化技術研究部会では、東日本大震災の約1ヶ月後に千葉県浦安市の地盤液状化被害の現地に入り、公園、緑地、街路樹の被害状況や減災効果などを調査し、樹木の生育状況のモニタリングを行ってまいりました。その結果を現在報告書にまとめつつあります。今回のシンポジウムでは、それら調査の結果報告を行うと同時に、緑のインフラを明日の防災・減災にいかにか活かすことができるかという具体的な方法などについても話し合いたいと思っています。日本緑化工学会員以外の方も、どうぞふるってご参加いただけますようご案内申し上げます。

(緑化・環境 CPD、造園 CPD プログラム認定申請中)

日時：2011年10月13日（木）午後1時10分～4時30分
(受付開始は12時30分から)

会場：住宅金融支援機構「すまい・るホール」(右下図)

定員：200名

会費：1,000円(税込)。日本緑化工学会の領収証を発行します。

■第一部：現地調査結果の報告

- ・芝生地と樹林地の状況
中野緑化工技術研究所 中野 裕司
- ・街路樹の被害状況
(社)街路樹診断協会 大島 渡
- ・液状化と緑地
ジオグリーンテック(株) 長谷川 秀三

■第二部：パネルディスカッション

- 「災害を見据えた緑のインフラ整備の要点」
- ・コーディネーター：明治大学農学部教授 輿水 肇
- ・パネラー(予定)：
第一部の発表者の方々に加えて
国土交通省都市局緑地環境推進室長 榑野 良明
(有)テラボックス・テクニカ 川九 邦雄
(千葉県浦安市役所……………依頼中)



傾いた街路樹



グラウンドの亀裂



お申し込みは、メールまたは本紙のファクシミリにてお願いします。

■ 2011年 日本緑化工学会 都市緑化技術研究部会 シンポジウム 参加申込書

10月13日(木)のシンポジウムに参加する。

注) 先着順のご予約となります。予めご了承ください。
受付回答はメールかファクシミリで行いますので、
メールアドレスまたはファクシミリ番号を必ずご明記ください。

申込先
Mail : sympo@toho-leo.co.jp
Fax : 03-5907-5505

| | | | |
|---------------|---------|--------|----------|
| [フリガナ] お名前 | 勤務先・部署名 | | |
| 連絡先ご住所 | 〒 | | |
| 連絡先 | 電話番号 | FAX 番号 | Eメールアドレス |

【お問い合わせ先】

2011年 日本緑化工学会 都市緑化技術研究部会 シンポジウム事務局(東邦レオ(株)内)
野島または加藤 電話：03-5907-5502 FAX：03-5907-5505